

しんりん くみあい だより

Vol.37

2022年
1月号

かが森林組合



「にじ色の葉のきせきの木」 白山市立白嶺小学校四年 川端 一徹さんの作品

かわばたいてつ

JForest

かが森林組合



ホームページアドレス
<http://www.kaga-forest.or.jp>

本所・小松支所／〒923-0181 石川県小松市長谷町ヨ244番地 TEL(0761)46-1341・FAX(0761)46-1177 ☎050-050-3802-2464
E-mail : komatsu@kaga-forest.or.jp

加賀支所／〒922-0831 石川県加賀市幸町2丁目90番地 TEL(0761)72-0592・FAX(0761)72-0342 ☎050-050-3533-3417
E-mail : kaga@kaga-forest.or.jp

白山支所／〒920-2321 石川県白山市吉野ヶ6番地 TEL(076)255-8930・FAX(076)255-8931 ☎050-050-3385-2045
E-mail : hakusan@kaga-forest.or.jp

辰口出張所／〒923-1224 石川県能美市和気町い19番地 TEL(0761)52-0456・FAX(0761)52-0457 ☎050-050-3333-6201
E-mail : tatukuti@kaga-forest.or.jp

那谷工場／〒923-0336 石川県小松市那谷町金1番地 TEL(0761)65-7300・FAX(0761)65-7301 ☎050-050-3649-7387
E-mail : nata@kaga-forest.or.jp



組合長あいさつ

代表理事組合長 片山 健二

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

組合員の皆様には、当組合の事業運営にご理解ご協力を賜りありがとうございます。また、県・市をはじめ協力事業体など関係の皆様にも多大なるご支援、ご協力を頂きましたこと心よりお礼を申し上げます。

さて昨年は、新型コロナの影響が続く中、全世界から多くのアスリートを日本に迎え東京オリンピック、パラリンピックが開催されました。感染拡大を考慮して多くはテレビの前での応援となりましたが、日本選手、特に地元選手の大活躍に心躍らされ、コロナで沈みがちだった人々の心に感動と勇気をもらった思い出深いイベントでした。

森林・林業に関しては、ウッドショックの影響を大きく受けた1年でした。春先から世界的な木材不足となり、国内の木製品の価格が高騰しました。それを受け国産材の需要が高まり、下落傾向であった地元スギ材などの価格も持ち直しております。さらに、近年の地球温暖化防止への取り組みやSDGsへの関心の高まりなど、森林・林業を取り巻く環境には追い風が吹いていると感じております。



新年のごあいさつ

石川県南加賀農林総合事務所

所長 金子 直太

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様方におかれましては、平素より本県の森林・林業並びに木材産業施策の推進に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私たちの生活に様々な恩恵をもたらす森林を健全な姿で未来に引き継ぐため、県では「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用による林業と木材産業の発展に向けて、令和3年3月に新たに「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021」を策定いたしました。

本ビジョンでは、10年後の県産材供給量30万立方メートルを目標に、目指すべき姿として、「林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展」、「木材産業の体制強化と県産材の利用拡大」、「多様で健全な森林の管理・保全」、「里山資源を活かした山村の振興」を掲げ、県民共有の財産である森林を健全な姿で未来の世代に継承できるよう、川上から川下までの総合的な取り組みを推進していくこととしています。

ビジョンに掲げた魅力ある産業としての林業の発展に向けて、県では、成熟しつつある人工林の主伐・再造林を進めており、林業収益力の向上を図るため、ドローンやICT等を活用した丸太生産コストの削減や木材需給マッチングシステムによる流通コストの低減などスマート林業の実証・普及に取り組んでいます。

このような中、当組合では令和2年度に策定をした第2次中期経営計画に基づき、安定した組合運営を目指し様々な経営改善や新たな取り組みを行っております。

一つは令和元年度に始まりました森林経営管理制度いわゆる「森林バンク」への取り組みです。事業主体となる管内4市に働きかけ、森林所有者への意向調査や境界明確化、集積計画の策定など積極的に協力させていただきました。これまで組合だけでは所有者からの同意等を得ることが難しかった地域などを中心に県・市のご協力を得ながら新たな事業地の確保に取り組んでいます。

二つには、当組合が近年特に力を入れている皆伐・再造林への取り組みです。ウッドショックで木材価格が上向きの今、皆伐の伐採経費にも助成される花粉発生源対策事業を活用し組合が自ら生産するクヌギ等のコンテナ苗を使った再造林で伐採収入に補助金を加えて経費を抑え、少しでも多くを還元できるよう組合員さんに提案していきたいと考えております。

今年も役職員一同、組合員の皆様から安心して森林の経営や木材の販売を任せられる組合組織となれるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

令和3年度からは、これらの取組を普及させるため、コマツと連携し、スマート林業を担う人材育成も本格的に進めているところです。

一方、将来にわたり森林所有者による森林の経営管理が期待できない森林においては、市町を通じて森林組合等に経営を委託する「森林バンク制度」が令和元年度に創設されており、県としてもこのような森林については、森林組合等による適切な管理が持続するよう支援しているところです。

また、いしかわ森林環境税を活用した取組につきましては、先の県議会で次期5年間の延長をお認めいただいたところであり、引き続き、野生獣の出没を抑制するための緩衝帯整備、森林の公益的機能の低下をもたらす放置竹林の除去、県産材の利用促進対策等に取り組んでまいります。

これらの取組を通じ、南加賀地域の林業振興、森林の公益的機能の維持増進、山村地域の活性化等の実現に取り組む所存でありますので、組合員の皆様方には、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、かが森林組合の今後益々のご発展と、組合員の皆様方のご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

第66回山林大会が開催されました



10月19日、金沢市の石川県立音楽堂にて第66回石川県山林大会が開催されました。新型コロナウイルス感染予防の観点から人数を絞り、20名の方々に参加いただきました。

大会において、各種表彰があり下記の方々が受賞されました。おめでとうございます。

受賞された皆様の日々の努力に敬意を表するとともに、これからもお元気で活躍されんことをご祈念申し上げます。



石川県森林整備コンクール
石川県知事賞 金山 嘉行

—写真は代理出席された
息子の金山 嘉樹さんです—



林業功労者
山林協会長表彰 田中 隆平



林業功労者
山林協会長表彰 本田 勝男

なお、田中相談役におかれましては、
石川県農林水産業功労者知事表彰及び
小松市産業功労賞も受賞され表彰が
行われました。



林業・緑化機械・関連資材販売・修理
ペレットストーブ・薪ストーブ・販売・施工

 **(有) 新 栄 商 事**

〒920-0059 金沢市示野西142
TEL (076) 268-0101 FAX (076) 268-8899

製材機・木工機・プレカットマシン・CNCマシニング・その他関連機械

有限 武 生 松 源 商店
会社

本社・工場 915-0054
営業部
サービス部
倉庫・鋸加工所

福井県越前市小野谷町4-3-6
TEL 0778-24-1111 FAX 0778-24-1118
TEL 0778-24-1115 FAX 0778-24-1113
福井県越前市本保町21

皆伐・再造林事業の取り組みについて

1. 皆伐・再造林の実績と今後の計画

当組合では、平成24年頃から皆伐事業に着手してきました。当初は、組合員さんからの依頼によるもので、その多くは伐採作業のみで、再造林は行われず持続的な林業経営が危惧される状況でした。

そこで令和3年度から本格的に、国や県の花粉発生源対策推進事業補助金を活用し、皆伐と少花粉スギやクヌギなどのコンテナ苗の植栽をセットで行う皆伐・再造林に取り組んでいます。

組合としては、組合員さんにとって収入が多くなることや、森林を健全に循環させるためにも必要であることから、皆伐・再造林の取り組みを積極的に提案させていただいています。

項 目	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (計画)	令和5年度 (計画)
皆 伐	(ha)	6.67	15.47	4.66	21.11	23.00	32.00
材 積	(m3)	2,646	6,354	3,002	14,025	13,800	19,200
再造林	(ha)	0	2.29	2.47	17.45	19.00	26.00

2. 施業地の集約化と機械化の取り組み

組合では、皆伐現場での作業の効率化を図り、生産コストの削減を目指し施業地の集約化と高性能林業機械の導入に取り組んでいます。

複数の組合員さんにお声を掛け、谷ごとや区域ごとのに施業地をまとめ作業道などの路網を開設し大型の林業機械で伐木・造材、搬出することにより、経費を抑え少しでも多く還元できるよう目指しております。

令和3年度末に組合の協力会社がコマツハーベスターを導入することになりました。これで組合管内では3台のハーベスターが稼働することになり、グラップルやフォワーダーなど必要な林業機械も更新しつつ、集約化した現場で低コスト皆伐を行うための体制を整えています。

今回導入するコマツハーベスター



作業現場の状況



※ハーベスターとは、立木の伐倒、玉切、枝払いを手元操作で行える高性能的林業機械です。

さらに、玉切りした原木の本数や材積などの数量を作業と同時にオペレーターが確認することが出来ます。

3. コンテナ苗の生産状況について

組合では、令和2年度からスギなどの人工林伐採跡地や荒廃竹林の除去跡地に植栽するコンテナ苗の生産を障害者支援施設に委託し、入所者さんの自立支援に貢献しながら取り組んでいます。

令和2年の秋頃に管内のクヌギの実を2,000個ほど採取したものをコンテナに植え付け現在、そのうち1,460本が立派な苗に成長しています。地元生産者にご指導を仰ぎながら行っていますが、初めてのことでうまくいかないことも多々あります。今年度、育成した苗の中で検査規格に合うものを、小松市内の花粉発生源対策推進事業で行った皆伐跡地に植栽する予定です。

また、令和3年秋には組合職員で、管内のクヌギ林から約15,000個のクヌギの実を採取しました。今は、培養土を詰めた箱に入れて養生していますが、春を待たずにすでに発芽している実もいくつかあるようです。

クヌギは成長が早く30～40年で成林し、シイタケ原木や菌床用のチップさらには薪や木炭の原材料として需要も多い将来性のある有用な広葉樹です。

令和4年度から組合が自前で生産したこれらの苗木を使った本格的な再造林が始まります。将来的には少花粉スギのコンテナ苗づくりにも取り組み、スギを植栽したいと思っている組合員さんへの対応もできるようにしていきたいと考えています。

これらの取り組みで、植栽にかかる諸経費を抑え少しでも組合員さんへの還元につながればと期待をしています。



おわりに

組合では、これらの取り組みにより組合員さんの所得向上を目指し、1haあたり500m3の出材を想定した場合、皆伐と再造林、さらに植栽後の4年間の下刈り作業をセットにして、最大150万円をお支払いすることを目指しています。

近年のウッドショックの影響もあり木材価格も少し上向きです。今が伐り時です。

所有林の皆伐等のご要望がありましたら組合までご連絡ください。組合としてできる限りのお手伝いをさせていただきます。

石川県の新しいビジョンが策定されました

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021」の概要

基本的な考え方

森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、人工林は、循環利用（伐って、使って、植えて、育てる）し、経済林として管理することが重要。

（ただし、管理放棄された「手入れ不足人工林」は、環境林として針広混交林化を進め、公益的機能の回復を図ることが必要。）

これまで

- ・手入れ不足人工林の解消が喫緊の課題。H19年からいしかわ森林環境税を導入し、強度間伐等により全体の9割を解消（約21,000ha）
- ・経済林は、収益力の低迷から主伐・再造林が進まず、県産材供給量は目標の半分（15万m³）。収益力向上に向けスマート林業に着手
- ・人工林資源が成熟（主伐期の人工林：5割→7割）

これから

- 経済林の循環利用（伐って、使って、植えて、育てる）を最重点課題に位置づけ
- ・スマート林業の本格的な実践により林業収益力を向上し、1.林業を魅力ある産業として飛躍的に発展させる。これにより、主伐・再造林を進め、県産材供給量を倍増（30万m³）させるとともに、2.木材産業の体制強化と県産材の利用拡大を進め、経済林の循環利用を実現する。
 - ・引き続き、森林環境譲与税等も活用し、環境林の3.多様で健全な森林の整備・保全を推進するほか、4.里山資源を活かした山村の振興を図る。

新ビジョン（2021～2030）の施策の方針

1. 林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展

- スマート林業の実践展開により、林業収益力を向上させ、主伐・再造林を推進
 - ドローンによる資源量調査やICTを活用した丸太の生産と需要のマッチング等
- 所有者が管理できない経済林を「意欲と能力のある林業経営者」へ集積
- スマート林業を担う人材の育成や、伐採作業の安全対策を強化

2. 木材産業の体制強化と県産材の利用拡大

- 工務店等の需要に応える製材品等の生産・供給体制を強化
 - 人工乾燥材、集成材、CLT等の付加価値の高い製材品等の生産設備の導入を支援
- 住宅に加え、非住宅建築物での県産材利用を促進
 - 中大規模建築物の設計者育成や県産材製品の情報（規格、納期等）提供窓口の設置
 - 県産材ロゴマークによるPR

3. 多様で健全な森林の整備・保全

- 手入れ不足人工林の整備、放置竹林の除去、緩衝帯の整備を推進
- 治山施設や海岸防災林を着実に整備

4. 里山資源を活かした山村の振興

- 「里山振興ファンド」により、生業の創出や担い手づくりを支援
- 「のとてまり」等の特産林産物の生産を拡大

10年後の県産材供給量30万立方メートルの実現

事業推進会について

例年２月中旬から実施して参りました「地区座談会」を「事業推進会」と名称を変え、地区の役員、総代、林産組合長さんを中心にそれぞれの地区でどのようにしたらより収益性の高い事業が進められるか皆さんと一緒に考える会として令和２年２月に小松市、能美市で開催しました。その後のコロナ禍の影響で加賀市と白山市での開催が延期となりました事業推進会を本年２月に再開するべく準備を進めております。

実施した地区の会場では大いに盛り上がり、出席者の皆さんから「なかなか良い会だった。」とご好評をいただきました。皆さんからの要望等をお聞きする場として、今後とも積極的に進めていきたいと考えております。

購買よりお知らせ

各支所の購買コーナーでチェーンソー・刈払機とその部品他、林業に係る資材を扱っております。

林業肥料、山林用肥料、薬剤、チェーンソー、刈払機、雪起こし資材、木登り資材、刃物類、地下足袋、スパイク長靴、熊鈴など

その他、季節によってきのこの種駒や、スギ・ヒノキ等の苗木類も取り扱っております。

また、組合にて機械等を購入いただくと機械の不調、修理をお気軽にご相談いただけます。

・林業機械展示販売&無料点検サービス会の各支所の予定

当日持ち込みに限り、チェーンの目立ては１本５００円、チェーンソーや下刈機の点検は無料となっております、(有)新栄商事、(株)タニグチ商会の方と職員とで目立てと点検を実施いたします。

また、当日は普段店頭にはおいていない機械や林業用品も販売いたします。

各支所の予定	
小松・辰口出張所	３月
白山支所	４月
加賀支所	１０月



職員紹介

９月に白山支所業務課に配属になった向井 和樹君です。



向井 和樹

９月１日付で白山支所に配属になりました向井和樹です。

林業は全くの初心者ですが、マラソンや登山が好きで体力には自信があります。

これから覚えることがたくさんあると思いますが、優しい先輩方の教えを吸収し、自分で学ぶことも忘れずに、早く仕事を覚えて組合員の皆様のお役に立てるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

求人について

現在、組合において造林部門の強化を図っており、造林作業に従事する技術職員を募集しています。組合への就職を希望する体力に自信のある方、組合員さんの知り合いで該当する方がいらっしゃいましたら、組合までご連絡ください。

組合員の皆様へのお知らせ


次のいずれかに該当する方は各支所へご連絡下さい。

昨年 of 総代選挙の際、名簿が故人名義のままになっている方が多数おられることが問題になりました。

その後、林産組合長の皆様には、お亡くなりになっている方の調査についてご協力をいただきました。ありがとうございます。

現在も故人名義となっておられるご家庭がございましたら、至急各支所にご連絡をお願いいたします。手続きに必要な書類をお送りします。

- ・ 組合員であるご本人がお亡くなりになった方
組合にご連絡を頂き、名義変更手続きをお済ませいただくようお願いいたします。
- ・ 住所を変更された方
TELにて受付いたします。
- ・ 譲渡等により出資持分を変更したい方
ご家族の方に出資持分を譲渡したい方
- ・ 山林を譲渡された方
山林を譲渡された方は準組合員に変更する必要があります。



組合クイズ

問題 合体漢字 下の漢字を組み合わせて2字熟語を完成させてね。

人 + 十 + 糸 + 合 + 冫 + 木

官製はがきに答えと住所、お名前を記入し、右記の宛先まで郵送してください。抽選で正解者10名様に、ハムセットをプレゼントいたします。
なお、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

宛先 〒923-0181 小松市長谷町ヨ244番地
かが森林組合 本所 組合クイズ係

締切 令和4年1月14日(金)まで
賞品の発送は2月上旬ごろになります。

※正解はホームページにて発表します。

かが森林組合 [検索](#)



 **タニグチ商会**
福井県鯖江市下司町10-34-2
TEL0778-62-3828